

目 次

(一)

壮丁学力点検と無学力者問題

—日本帝国主義形成期における児童保護問題の構造分析として—

教育論叢 第12号、1969、pp. 77-104.

..... 11-40

第一次世界大戦と生物社会学主義の破綻・修正

(原題：1910年代・アメリカにおける《精神薄弱と非行》をめぐる
保護・教育の問題状況に関する一考察)、

1970年度・名古屋大学大学院教育学研究科修士論文、1971. 159 p.

..... 41-104

現代日本における障害者の生活状態に関するノート

—生活過程分析よりみたる—

教育論叢、第15号、1972、pp. 105-198.

..... 105-195

障害者の教育保障をめざす運動 (1)

—愛知からの報告—

(共著：全障研愛知支部事務局サークル)、

障害者問題研究、第1号、1973、pp. 4-16.

..... 197-211

障害者の教育権保障運動についての試論

—愛知県障害児の不就学をなくす会のとりにくみに学んで—

(共著：大泉溥、藤井力夫、斉藤紀之、秦安雄、須賀肇、佐藤顕)、

障害者問題研究、第2号、1974、pp. 88-94.

..... 213-221

(二)

障害者教育問題の歴史的法則性 (設問373)

中内敏夫、堀尾輝久、吉田章宏編集代表、現代教育学の基礎知識 (2)、

有斐閣、1976、p. 411.

..... 225-227

フランス精神医学史資料探索 北教大 図書館報、第23号、1977、pp. 3-4.	229-232
戦後障害児問題年表 (共著：秦安雄、藤井力夫)、精神薄弱問題史研究紀要・別冊、1973、 pp. 1-79.	314-234
外国精神薄弱問題史年表 (共著：清水寛、安達勇作、戸崎敬子、藤井力夫)、 精神薄弱問題史研究紀要、第6号、1968、pp. 57-128.	388-315
大阪市における精神薄弱児「特別学級」の成立過程 —天保八年より昭和5年まで— 精神薄弱問題史研究紀要、第5号、1967、pp. 30-43.	404-389

(三)

マリア・モンテッソーリ 精神薄弱問題史研究会編：人物でつづる障害児教育史、 日本文化科学社、1980、pp. 84-85.	407-410
随意性の制限と脱却をめぐる問題 —3つの予備実験についての中間報告— 北海道教育大学附属札幌小・中学校、特殊学級（ふじのめ学級）研究紀要、 第9集、1979、pp. 1-18.	411-429
随意運動の発達に関する神経心理学的基礎 —A. R. LURIAの局部脳損傷患者に対するケース研究からの覚え書き（上）— 北海道教育大学紀要（第1部C）、第31巻第1号、1980、pp. 47-60.	431-446
随意運動の発達に関する神経心理学的基礎 —A. R. LURIAの局部脳損傷患者に対するケース研究からの覚え書き（中）— 北海道教育大学紀要（第1部C）、第31巻第2号、1981、pp. 105-121.	447-465

随意運動の発達に関する神経心理学的基礎

—A. R. LURIAの局部脳損傷患者に対するケース研究からの覚え書き (下)—

北海道教育大学紀要(第1部C)、第32巻第1号、1981、pp. 195-205. 467-479

(四)

乳幼児の神経学的発達について

—オランダ・グローニンゲン大学・発達神経学教室の研究動向紹介—

障害者問題研究、第14号、1978、pp. 78-90. 483-497

姿勢反射の利用と増強をめぐる問題

—スキップ動作はなぜ難しいのか。指導プログラム作成にあたっての
いくつかの前提—

北海道教育大学附属札幌小・中学校、特殊学級(ふじのめ学級)研究紀要、
第13集、1983、pp. 1-18. 499-510

動的姿勢制御能の追跡解析による「養護・訓練」の個別プログラム及び
形成評価法の開発

昭和58年度科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書、1984、
pp. i-iii, 1-29. 511-544

《平衡歩行版課業》からみた幼児の動的姿勢制御能の発達及び
地理的諸条件の検討

僻地教育研究、第39号、1985、pp. 163-199. 545-583

乳幼児の運動発達と姿勢反射の役割

北海道の保育、第7号、1981、pp. 61-67. 592-685

Development of dynamic postural control in locomotion of human infants
walking like a "waddling duck" in a half-sitting position.

Journal of human ergology, Vol.12, No. 1. 1983. p. 87. 595-596

Changing patterns of five sections of plantar pressure in children
during one-leg standing.

Journal of human ergology, Vol.12, No. 2. 1983. pp. 205-206. 597-598

- Development of dynamic postural control abilities in infants and young children from the viewpoint of balance adjustments while walking on balance-narrowing beam.
Journal of human ergology, Vol.13, No. 2. 1984. pp.166-167. 599-600
- Developmental relations between the stage-setting abilities of postural tonus and the rhythmic patterns of the walking cycle in mentally retarded children.
Journal of human ergology, Vol.17, No. 2. 1988. pp.180-181. 601-602
- Ergological comparison of "rythmes scolaires" for mentally retarded children in France and in Japan from a viewpoint of snap-reading analysis.
Journal of human ergology, Vol.19, No. 1. 1990. p.64. 603-604
- A role of fluctuation of heart-rate interval under preferred walking from the viewpoint of a cycle pattern analysis of six plantar points.
Journal of human ergology, Vol.19, No. 1. 1990. pp.85-86. 605-606

(五)

- 障害児教育学の創造、歴史研究と生理学研究からのアプローチ
障害児教育研究年報 1992年、北海道教育大学札幌校障害児教育研究室、
1993、pp.1-4. 609-614
- フランスの養護学校と日本の養護学校
北海道教育大学教科教育学研究図書、第3巻、東京書籍、1994、pp.36-58. 615-639
- 障害者（在宅精神障害者）の就労の促進に関する調査研究
（共著：藤野武、大槻俊明、藤井力夫、太田隆男）、
北海道ノーマライゼーション研究 No. 2、1990、pp.87-115. 641-671
- 在宅重症心身障害児の教育内容の改善に関する研究
—体温のサーカディアンリズムからの検討—
（共著：斉藤昭、小葉松恵美子、長沼睦雄、藤井力夫）、
北海道ノーマライゼーション研究 No. 8、1996、pp.155-165. 673-685
- ある Rett 症候群児に対する訪問教育の内容の検討
—（2）電気生理学的資料からみた"揺らし"の効果について—
（共著：藤井力夫、斉藤昭、氏家武）、
日本特殊教育学会第30回大会発表論文集、東北大学、1992、pp.636-637. 687-690

運動負荷時の動作リズムと呼吸位相：

呼吸ガス流量パターンの継時的解析による有酸素性作業能のグラフィック評価
日本特殊教育学会第32回大会発表論文集、明治学院大学、1994、pp. 878-879.

..... 691-699

知的障害者の余暇・スポーツ活動のあり方に関する予備的事例研究：

ある授産施設の場合

平成6年度・ホクサイテック財団研究開発支援事業補助金一般研究奨励事業

(個人研究) 研究成果報告書、1995、21 p.

..... 701-723

(六)

わらべうたに潜むもの (1)：

音声スペクトル包絡及び呼気流、心拍動、筋電等生体情報の連続表記による
解析の試み

北海道教育大学紀要 (第1部C)、第47巻第1号、1996、pp. 81-96.

..... 727-744

わらべうたに潜むもの (2)：

「核音」の存在と利用；スペクトル採譜図、呼気持続、呼気流率、
心拍変動の諸相からみた3人における歌唱の実際

北海道教育大学紀要 (第1部C)、第47巻第2号、1997、pp. 111-126.

..... 745-762

わらべうたに潜むもの (3)：

「重音節量」の存在と利用；「通りゃんせ」にみる「足拍重音節量」の原理を
媒介とした韻律生成の実際について

北海道教育大学紀要 (第1部C)、第48巻第2号、1998、pp. 75-92.

..... 763-782

(七)

E・セガンはどのように障害児教育をはじめたのか、

初期教育実践にみる理論的再構成の優位性について (1)

—不治療療院での障害児教育創始 (1841. 10~1842. 3)と実践報告の形式—

北海道教育大学紀要 (教育科学編)、第52巻第2号、2002、pp. 45-60.

..... 785-802

E・セガンはどのように障害児教育をはじめたのか、

初期教育実践にみる理論的再構成の優位性について (2)

—セガンが対象とした子どもたち、発達課題の設定と教育指導の基本的立場—

北海道教育大学紀要 (教育科学編)、第53巻第1号、2002、pp. 13-29.

..... 803-821

E・セガンはどのように障害児教育をはじめたのか、
初期教育実践にみる理論的再構成の優位性について (3)
—「止まれる子どもは発達する」、イモビリティへの着目と共同運動の増強—
北海道教育大学紀要 (教育科学編)、第53巻第2号、2003、pp. 11-26. …… 823-840

E・セガンはどのように障害児教育をはじめたのか、
初期教育実践にみる理論的再構成の優位性について (4)
—「／ママ／、／ブブ／と反復できたなら」、言語起源への着目と
拍節リズムの利用—
北海道教育大学紀要 (教育科学編)、第54巻第2号、2004、pp. 1-18. …… 841-859

(八)

障害児教育学原論、素描・その四
構え姿勢と共同運動の習熟
動作リズムの優先テンポに関する基本問題の検討
—E・セガンの障害児教育指導の内容・方法についての現代的検証—
研究雑話(83)、さんわ、146号、1999. 11. ~ 研究雑話(132)、さんわ通信、
210号、2004. 1. …… 914-863

障害児教育学原論、素描・その三
人間発達の物質的基礎と障害児教育の内容・方法への視座
—A・R・ルリアの神経心理学と自然科学的認識の到達段階—
研究雑話(36)、さんわ、98号、1995. 12. ~ 研究雑話(82)、さんわ、145号、
1999. 10. …… 964-916

障害児教育学原論、素描・その二
現代フランスにおける障害児・者の教育・福祉事情
—1975年・障害者基本法と地域保障の実際に関する調査—
研究雑話(17)、さんわ、79号、1994. 5. ~ 研究雑話(35)、さんわ、97号、
1995. 11. …… 986-966

障害児教育学原論、素描・その一
近代市民社会における障害児教育の成立と展開
—E・セガンにみる障害児教育創始の背景と指導原理—
研究雑話(1)、さんわ、63号、1993. 1. ~ 研究雑話(16)、さんわ、78号、
1994. 4. …… 1006-988